

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策I-3-1 地域資源を活用した観光地づくりの推進
---------	----------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 観光振興課長 藤井 洋一 電話番号 0852-22-6257

事務事業の名称	快適地しまね魅力アップ事業	
目的	(1) 対象	島根県内各地域
	(2) 意図	各地域特有の観光資源を磨き上げ、地域ブランドを確立し、観光誘客につなげる
事業概要	【広域観光商品開発支援事業】 魅力ある観光地、観光商品の創出を促すため、広域的な観光振興事業実施団体に補助金を交付する 【広域観光振興支援事業】 広域的な観光振興を図るため、日本観光振興協会等に負担金を拠出する 【山口線S.L.運行対策協議会事務】 S.L.やまぐち号を利用した益田地域への観光誘客を図るため、山口線S.L.運行対策協議会に負担金を拠出して事業を実施する	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	観光入込客延べ数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		29,700	29,500	29,300	30,000	
式・定義	島根県観光動態調査	実績値	27,489	29,188	36,819	33,207			
		達成率		98.30	124.80	113.40		%	
指標名	式・定義	観光入込客延べ数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			件
式・定義		実績値	0.00	0.00	0.00				
		達成率		0.00	0.00			%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	20,363	20,434
うち一般財源 (千円)	20,363	20,434

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

【広域観光商品開発支援事業】市町村エリアを超えた広域的な観光振興の取組み支援のため、「神話の国縁結び観光協会」や「出雲の園・斐伊川サミット」、「石見観光振興協議会」や「隠岐観光協会」に対して支援し、地域特有の観光素材を活用した観光商品の造成が進んだ。
 【山口線S.L.運行対策協議会事務】山口線全線運転再開イベントの実施やS.L.スタンプラリーなどを実施し、誘客を図った。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

【広域観光商品開発支援事業】旅行会社へのプロモーション、縁結びブランドや隠岐の「ご島地グルメ」など地域の魅力を各種媒体を活用して情報発信し、広域的な観光誘客の促進を図った。
 【山口線S.L.運行対策協議会事務】S.L.やまぐち号を活用した誘客事業を通して、山口県とのさらなる連携を図った。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
 【全体】H26年の県全体の観光入り込み客数はH25年より減少し、特に石見地域においては客数が落ち込み傾向にある。
- ②困っている状況が発生している「原因」
 【全体】地域資源であるS.L.や「トロッコ列車」、「石見神楽」を活用した観光商品や、出雲エリアを中心とした縁結びブランドなど県内外に認知されてきてはいるが、まだ充分ではない。
- ③原因を解消するための「課題」
 【全体】広域的な観光素材・観光商品を県外へ向けて強くPRしていくため、ターゲットの設定と情報発信手法の検討を継続して進めるとともに、観光素材のブラッシュアップを実施する必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

【広域観光商品開発支援事業】地域資源を活かした観光商品造成を進め、地域ブランドを確立し、全国からの誘客につなげていくためには、市町村の枠を超えた広域的連携による取組みが必要であり、広域的な観光振興事業実施団体の取組みに対して、引き続き支援を行う。
 【山口線S.L.運行対策協議会事務】大河ドラマ放映等を機に山口県との連携を更に強化し、共同で誘客に取り組むとともに、中国五県との連携による観光PR等にも継続して取り組んでいく。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）